

広報たかもり

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) ②0611 [代表]

人口

—8月31日現在—

人口	9,996人	男… 4,828人
	女…	5,168人
世帯数	2,624
転入	49	出生 12
転出	46	死亡 6



とじておくと役立ちます

第182号
昭和49年 10月1日

おもな内容

- トンネルで固い握手……………(2)
- 譲り受けたSL到着
補正予算など可決(九月定例町議会)…(3)
- 私の健康づくり(3人の体験から)……(4)
- 高森その歴史・みんなの説法……………(5)
- みんながつくる町民のひろば……………(7)
- 町民文芸・おめでた・おくやみ……………(8)

正しい乗り方を勉強
高森高校区婦人会が交通公園で

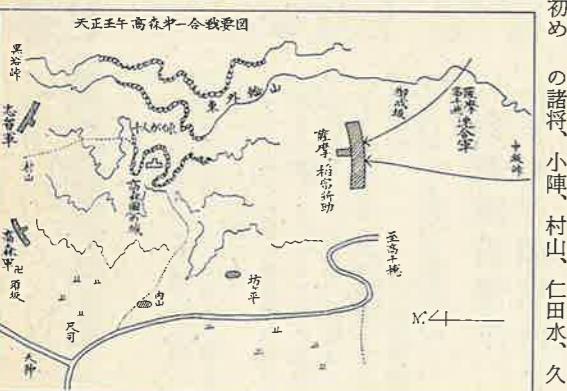
交通事故を少しでもなくそうーと、
高森高校区婦人会は、秋の交通安全運動
中の九月二十二日、交通公園で「正しい
自転車の乗り方」を勉強しました。

日ごろ自転車で買い物に出かける主婦など約五十人が参加、高森署のお仕方や交差点の渡り方などを交通ルールを習ったあと、一齊に自転車を使って実地訓練を受けました。たなかには緊張のあまり、標識を無視したり、合図を忘れて走る主婦もいて大笑い。和気あいあいのうちに正しい乗り方を覚えました。写真は交通公園で勉強する高森高校区婦人会



- | | | |
|---------|-------|---------|
| ▶10月6日 | 平田 医院 | 旭通②0216 |
| ▶10月13日 | 馬原 医院 | 上町②0646 |
| ▶10月20日 | 東 医院 | 旭通②0309 |
| ▶10月27日 | 寺崎 医院 | 白川②0378 |

島津義久は軍将、稻富新助に命じて、肥後に於ける最後の堅城、高森を攻めようと三千の大兵をして日向路を高千穂に入り、馬見原口から高森へと進撃させた。このころ高千穂には三田井氏が高森とともに大友に属したが島津の軍門に降り、その先鋒となつて高森を攻めた。薩摩の大軍は馬見原から菅尾今村城、柏の城を攻め、御成坂、中坂峠から高森城を包囲しようと押し寄せた。高森方では兵少なく、とうてい勝算なしと一策を考え、城主伊予守惟直は再起をはかりうと、城を明け渡し、近隣の諸将とともに三日以内に人質を出して島津に従うことと申入れた。これは高森惟直の計略だった。案外手早く高森城が陥落したので、稻富新助は人質の受取りのために兵



天正壬午高森第一合戦

天正十年十二月、薩摩の大守、島津義久は軍将、稻富新助に命じて、肥後に於ける最後の堅城、高森を攻めようと三千の大兵をして日向路を高千穂に入り、馬見原口から高森へと進撃させた。

このころ高千穂には三田井氏があり、その臣甲斐入道宗良は初めて

高森

とともに大友に属したが

島津の軍門に降り、その先鋒となつて高森を攻めた。薩摩の大軍は馬見原から菅尾今村城、柏の城を攻め、御成坂、中坂峠から高森城を包囲しようと押し寄せた。

高森方では兵少なく、とう

てい

勝算なしと一策を考え、

城主伊予守惟直は再起をはかりうと、城を明け渡し、近隣の諸将とともに三日以内に人質を出して島津に従うことと申入れた。これは高森惟直の計略だった。案外手早く高森城が陥落したので、稻富新助は人質の受取りのために兵

高森の歴史

<19> 執筆者

今村俊男

みんなの説法

じました

（後記）「みんなの説法」

（日雑譬喩経）

（野尻S生）

三人の聖者が集まり、自分の

出家した動機を語り合いまし

た。A「私は晴れた朝、ぶどう園を散歩していました。ぶどう

は紫色に熟し、枝もたわわ

になっていました。その

とき、突然、馬に乗った大勢の人たちが来て、その池に入り水浴のあとその花を摘んで行つてなり、ずっと暖かくなります。

（九電高森営業所）

（以上略）

（注）東臼杵郡東郷村、諸塙村

も高森攻めの歌があるが、歌詞の

解釈は次号にゆずる。

（日雑譬喩経）

（野尻S生）

（後記）「みんなの説法」

（日雑譬喩経）

お知らせ

お知らせ

計量器定期
検査を実施

本年度も次の日程で計量器の定期検査を行います。今までに合格したものやどんなに新しいハカリでも定期的な検査を受けられるようおすすめします。

▽十月十六日(土)十時~十五時(役場草部出張所)

▽十月十七日(日)十時~十五時(役場野尻出張所)

▽十月十八日(月)九時~十五時(役場本庁舎前)

していただきことが条件であり、卒業後に学資などの返済が必要としないことが特徴です。

父兄からの送金を受けず自力で大学を卒業しようとする方の参加をお待ちしております。詳細はハガキで番号802・北九州市小倉北区紺屋町一三一・毎日新聞西部本社内毎日育英会事務局へ。

町民文化芸



俳句

野尻あけび句会
九月八日於津留くらぶ

明日は発つ尽きぬ話や虫を鳴き

トンネルを抜くれば広き森なり

お盆来しあれやこれやと立ちまわり

鬼灯が熟れて孫等の今日も来て

穂芒に薫を添へて墓まいり

朝霧の中から牛の面が生れ

灯を入れし絵の灯籠がゆっくりと

裏阿蘇にまで火山灰ばかり秋暑し

古株に石榴花の子の育ちをり

盆来る香焚き続け客迎ふ

水を撒く車も人もやり過し

長姫に葛の花咲く住居あり

比翼塚建てし安堵や盆の月

鬼百合に触れし花粉の手が真っ赤

いちぢくの門に暑を避け人待てり

藤袴早や裏道に咲きいたり

浮かされて我も飛びこむ盆踊

台風の気象図九州今まとも

草村あつ代

甲斐 菊江

熊谷起代女

瀬井てる女

赤星山雪女

野尻 誓道

星女

熊谷こう女

熊谷あさ子

岩下 鈴子

長友たつ子

熊谷 つ子

瀬井せん女

佐藤けい子

藤井秋雪女

熊谷 紫雲

馬原 岳人

詩

敬老会に思ふ

社倉 今泉多美江 (87)

眼を開れば思出多き若き日の夢

眼を開けば嬉しさよはひを祝ふ敬老

高根の花を見るまで夢はさめるな

歌舞音曲厚きもてなし

一日極楽に遊ぶ夢の如し

阿蘇の峰心の駒にむち打て

高根の花を見るまで生きたし

高根の花を見るまで夢はさめるな
白蓮

雜詠

上色見 後藤嘉平 (85)

天命を惜めてながく樂しまむ

心も身をもすこやかにして

や

八十や九十も今は稀ならず

まことの古稀は百歳なるか

樂天

次の方々から心暖かいご寄付を

いたきました。
△上色見 洗川の本田末玉さんから
(高吉さん・49歳ご死去)
△高森、津留の今村博信さんから
(観察さん・74歳ご死去)
△天神、上町の老人クラブ・おも
と会から。(高森小にゾウキン二
百六十五枚)

△下切の二子石頭さんから町へ。
(交通事故にあった息子さんへの
見舞い返礼として)

がまだし者ン 見合い写真に言い添ゆる
猫も杓子も とうきびの如つ染むる髪
がまだし者ン 男勝りの荷負いダニ
どうか／＼ ぬしまでゴルフ始めたか
園振つて 送りたかった甲子園

林田 一声
馬原 馬笑

ご寄付

ありがとうございました

次の方々から心暖かいご寄付を

いたきました。
△上色見 洗川の本田末玉さんから
(高吉さん・49歳ご死去)
△高吉さん・76歳ご死去)

肥後狂句

御神火会八月例会入選句

氣の早さ仮縫いの儘着て来とる

がまだし者ン いつも公役の模範生
猫も杓子も グアムア新婚さんの島

浦塚 南天

林田 一聲

おめでた おくやみ

出生 S 49.8.16～S 49.9.15

(住所)	(保護者)	(出生児)	(性別)	(生年月日)
天神	桐原 恵慈	由紀子	女	49. 8. 6
山鳥	山諸 仁昭	佳代子	女	49. 8. 18
上在	後藤 新平	亞理佐	女	49. 8. 23
森	古澤富美男	未保	女	49. 8. 20
村山	甲斐、勇	陽二	男	49. 8. 22
森	渡辺 哲郎	徹	男	49. 9. 3
昭和	藤本 安通	清貴	女	49. 9. 1
森	甲斐	昭文	宏郎	49. 8. 7
下町	武田 健正	晃一郎	男	49. 8. 22
昭和	佐藤 佐藤	玲玲	男	49. 8. 3
"	大内田奉文	美み	女	49. 8. 3
"	草村 利民	まき	女	49. 8. 19
前原	後藤 陸男	敏	男	49. 8. 8

死 亡 S 49.8.16～S 49.9.15

(住所)	(遺族)(続柄)	(死亡者)	(年令)	(死亡年月日)
洗川	本田 芳子	夫	本田 未長	49. 8. 23
昭和	黒田 マス	夫	黒田 高吉	76 49. 8. 27
横町	野田今朝秋	養母	野田 ハマ	89 49. 8. 30
津留	今村キキヨ	夫	今村 観象	74 49. 9. 4
河原	森 寿美子	夫	森 繽	58 49. 8. 30
津留	石原イサエ	夫	石原一二三	72 49. 9. 14